

令和5年3月10日
相模原市発表資料

考古企画展「新発見！さがみはらの遺跡」 を開催します

市内には旧石器時代から戦国時代までを中心とした遺跡が約540箇所確認されています。これらの遺跡では、開発に伴って記録保存を目的に発掘調査が行われ、その出土品は博物館に収蔵されます。

今回の考古企画展では、近年の収蔵資料からわかる市域の歴史を紹介します。遺跡の内容を丹念に検討していくと全く同じ遺跡は存在せず、遺跡の新しい発掘調査成果は、市域の歴史を考える上で新発見と言えます。

会 期 令和5年3月18日(土)～4月16日(日) 休館日:毎週月曜日、3月22日(水)

開館時間 午前9時30分～午後5時

会 場 市立博物館 特別展示室 (所在地:中央区高根 3-1-15) **観覧無料**

関連事業 学芸員による展示解説

日時 3月26日(日)、4月9日(日) 午後2時～2時45分

会場 市立博物館 特別展示室

希望者は直接会場へ。



かみぞくほがやと
上溝久保ヶ谷戸遺跡第5地点出土の狩猟具



上溝4丁目彼岸沢遺跡第7地点の墓



ほくしよ すえき
下森鹿島遺跡出土の墨書のある須恵器



しろうさかくるわぐん
津久井城跡城坂曲輪群5号曲輪の池跡



問い合わせ先

博物館

電話 042-750-8030

考古企画展

新発見!

さがみはらの

遺跡



令和5年

3.18(土) → 4.16(日)

会場 相模原市立博物館 特別展示室

開館時間 9:30-17:00 休館日 毎週月曜日, 3/22

観覧 無料



新発見!

さがみはらの

遺跡

相模原市ではおよそ540箇所の遺跡が確認されています。3万年以上前の旧石器時代から小田原北条氏が勢力を誇っていた中世までを中心にその時代幅は広く、はるか昔から人々が連綿と生活をしてきたことが明らかになっています。今回の考古企画展では近年の収蔵品をもとに、市域の歴史を考古資料から紹介します。

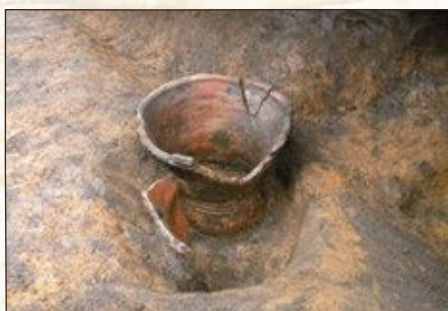
展示構成

1 旧石器時代の遺跡



狩りの道具 (山王平遺跡)

2 縄文時代の遺跡



埋められた縄文土器 (上溝久保遺跡)

3 弥生・古墳時代の遺跡



弥生土器 (川坂遺跡)

4 奈良・平安時代の遺跡



須恵器・土師器 (下森鹿島遺跡)

5 中世の遺跡



かわらけ (津久井城跡城坂曲輪群5号曲輪)



考古担当学芸員
による展示解説

申し込み不要、特別展示室にて
実施。(どちらも同内容)

令和5年

3月26日(日) / 4月9日(日) 14:00~14:45



交通のご案内

- 淵野辺駅南口から 徒歩 20分
バス青葉循環博物館廻り (淵37系統)
「市立博物館」下車すぐ
バス青葉循環共和廻り (淵36系統)
「市立博物館」下車すぐ
- 相模大野駅北口から
バス相模原駅南口行き (相02系統)
「宇宙科学研究本部」下車5分

- 相模原駅南口から
バス相模大野駅北口行き (相02系統) 「宇宙科学研究本部」下車5分
- 上溝駅から
バス淵野辺駅南口行き (淵52・53・59系統)
「弥栄」下車8分
- 無料駐車場95台

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、内容の変更等がある場合があります。開催状況に関する情報は博物館ホームページにてご確認ください。